英文法 L01 第 31 講 不定詞の意味上の主語

学習目標

for・of を使う基本的な意味上の主語と評価の対象を区別することができる。

1. 不定詞の意味上の主語とは

意味上の主語

意味上の主語とは、不定詞が表す動作や状態について、「だれがその動作をするのか」「だれがその状態にあるのか」を示す語句のことだ。

例えば、次の文を考えよう。

Pair 1

It is difficult for me to carry this box.

私がこの箱を運ぶのは難しい。
この文で、箱を運ぶのは誰だろうか。

答えは、me（私）だ。to carry this box（この箱を運ぶこと）という動作をするのは、文頭の It ではなく、for の後にある me である。

このように、不定詞の動作をする人を示すのが意味上の主語だ。

形式主語 it と意味上の主語

この文の It は、文の主語の位置を埋める**形式主語**である。内容を表しているのは、to carry this box という不定詞のまとまりだ。これを**真主語**という。

意味上の主語を含めた内容は、for me to carry this box（私がこの箱を運ぶこと）となる。

ここでは、2 つの「主語」を区別しよう。

形式主語の It は、文全体の主語の位置に置かれる語である。一方、**意味上の主語の me** は、to carry という動作をする人を示している。

同じ「主語」という名前でも、役割が異なるのだ。

2. for を使う意味上の主語

for＋人＋to 不定詞

不定詞の動作をする人を明示するとき、基本的には次の形を使う。

for ＋ 人 ＋ to ＋ 動詞の原形

この形では、for の後の人が不定詞の動作をする。

特に、動作の難しさ・容易さ・必要性などを述べる文でよく使われる。

動作や状況について判断する

次の文を見てみよう。

Pair 1

It is easy for Ken to solve this problem.

ケンがこの問題を解くのは簡単だ。

Pair 2

It is important for us to study English.

私たちが英語を勉強することは重要だ。

1 文目では、問題を解く人は Ken だ。easy（簡単な）は、ケンが問題を解くことの容易さを表している。ケン自身の性格を評価しているわけではない。

2 文目でも、勉強するのは us（私たち）だ。important（重要な）は、私たちが英語を勉強することの重要性を表している。

どちらも、**動作をする人を示し、その動作や状況について判断している**ことが分かる。

なお、for の後に代名詞を置くときは、me・him・her・us・them などの目的格を使う。I・he・she・we・they などの主格にはしない。

3. of を使う意味上の主語

of＋人＋to 不定詞

人の振る舞いや行動について、その人を評価する場合には、次の形がよく使われる。

of ＋ 人 ＋ to ＋ 動詞の原形

この形では、of の後の人が不定詞の動作をする。そして、形容詞がその人の行動や振る舞いを評価している。

例えば、kind（親切な）・rude（失礼な）・careless（不注意な）などを使う文がある。

行動から、その人を評価する

次の文を見てみよう。

Pair 1

It was kind of her to help me.

私を助けてくれるとは、彼女は親切だった。

Pair 2

It was careless of him to lose the key.

鍵をなくすとは、彼は不注意だった。

1 文目で、私を助けたのは her（彼女）だ。kind は、助けたという彼女の行動から、その人の親切さを評価している。

2 文目では、鍵をなくしたのは him（彼）だ。careless は、その行動について彼を不注意だったと評価している。

ここでの評価は、**その場面での行動についての評価**だ。of を使ったからといって、その人がいつでも親切、あるいは不注意な性格だと断定しているわけではない。

of の後でも代名詞は目的格にする。of she や of he ではなく、of her や of him を使う。

4. for と of は何を評価しているのか

行為の評価と人への評価

for と of を判断するときは、形容詞だけを見るのではなく、何をどう評価しているかを考える。

観点	for＋人＋to 不定詞	of＋人＋to 不定詞
意味上の主語	for の後の人	of の後の人
判断の中心	動作の難しさ・必要性など	その人の振る舞いや行動
代表的な表現	difficult・easy・important・necessary（必要な）	kind・rude・careless・thoughtful（思いやりのある）
代名詞の形	目的格	目的格

例えば、重い箱を運ぶ場面を想像しよう。

箱を運ぶことが難しいと述べるなら、行為の難しさが中心だ。一方、誰かが箱運びを手伝ってくれたことを親切だと評価するなら、その人の振る舞いが中心になる。

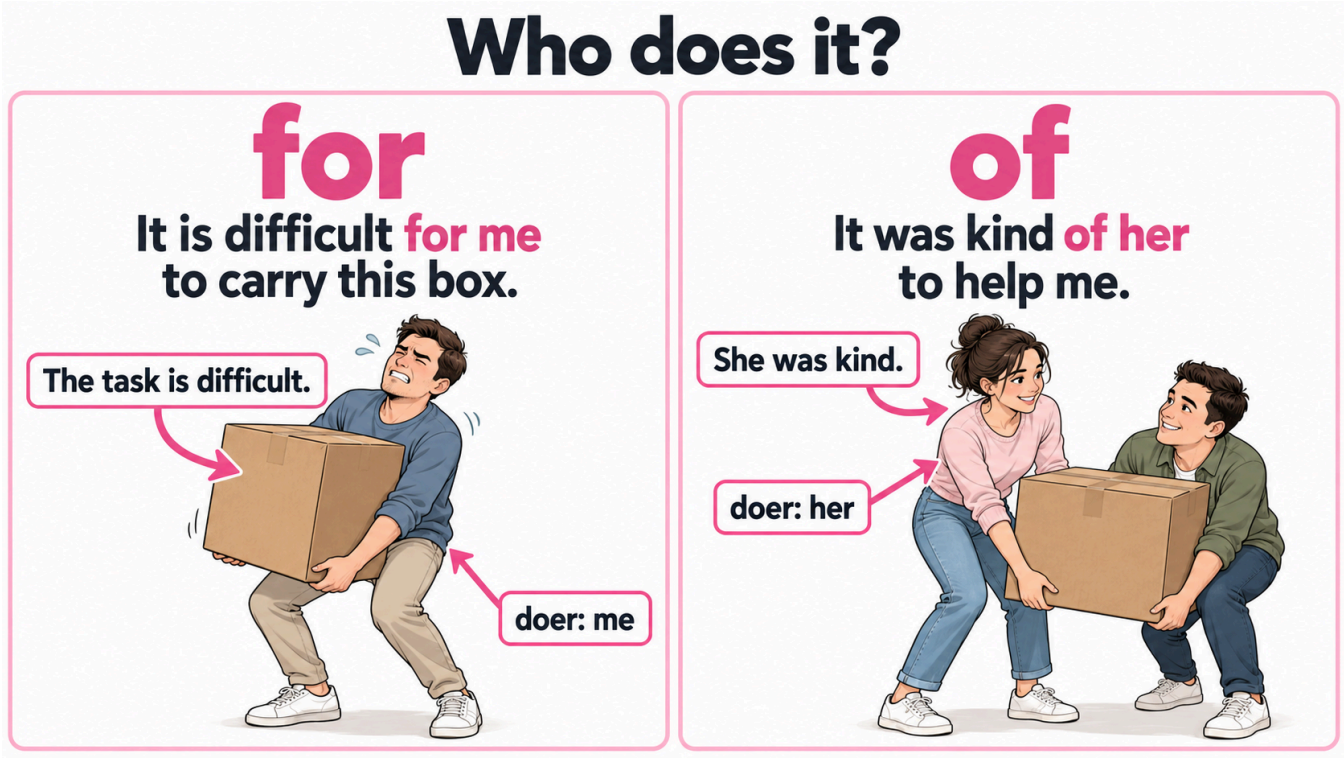


図 1　行為の評価と人への評価

図の題名 Who does it?は「それをするのは誰か」という意味だ。左側の for は「〜にとって」という判断と結びつき、右側の of は人の振る舞いに対する評価と結びついている。

左側の doer: me は「行為者：私」、右側の doer: her は「行為者：彼女」を示す。

図の英文も確認しよう。

Pair 1

It is difficult for me to carry this box.

私がこの箱を運ぶのは難しい。

Pair 2

The task is difficult.

その作業は難しい。

Pair 3

It was kind of her to help me.

私を助けてくれるとは、彼女は親切だった。

Pair 4

She was kind.

彼女は親切だった。

左側では、箱を運ぶという作業が難しい。右側では、手伝ってくれた彼女の行動を親切だと評価している。

右側の She was kind. も、この場面での彼女の振る舞いを評価した表現として捉えよう。

どちらの文にも動作をする人がいるが、評価の向きが異なるのだ。

形容詞だけで機械的に決めない

for と of の使い分けは、形容詞の名前だけで丸暗記するものではない。

まず、誰が不定詞の動作をするのかを確認する。次に、その動作の難しさや必要性を述べているのか、それとも行動を通して人を評価しているのかを考える。

実際の英語には、文脈によって表現の選び方が変わる場合もある。本講では、意味と形が明確な基本例で判断を練習する。

©ミライコーチング

例題

1

次の英文の空所に入る最も適切なものを 1 つ選べ。

It is difficult (　　) to carry this heavy box.

A. for me

B. of me

C. for I

D. of I

解答・解説

正解：A

Pair 1

It is difficult for me to carry this heavy box.

私がこの重い箱を運ぶのは難しい。
まず、to carry this heavy box という動作をする人を確認する。箱を運ぶのは私なので、意味上の主語は me だ。

次に、difficult が何を評価しているかを考える。この文は、箱を運ぶという動作の難しさを述べている。私の性格や振る舞いを評価しているのではない。

そのため、for me を選ぶ。

A. for me：正しい。動作の難しさを表す difficult と、行為者を示す for me が適切に結びついている。

B. of me：誤り。of を使って行為者の振る舞いを評価する形とは異なり、ここでは箱を運ぶことの難しさを述べている。

C. for I：誤り。前置詞 for の後に置く代名詞は、主格 I ではなく目的格 me にする。

D. of I：誤り。評価の対象に合う前置詞ではないうえ、I は前置詞の後に置く格として不適切だ。

©ミライコーチング

2

次の英文の空所に入る最も適切なものを 1 つ選べ。

It was kind (　　) to share her lunch with me.

A. for she

B. of she

C. of her

D. of hers

解答・解説

正解：C

Pair 1

It was kind of her to share her lunch with me.

お昼ご飯を私と分け合ってくれるとは、彼女は親切だった。
to share her lunch with me は「お昼ご飯を私と分け合うこと」という意味だ。その動作をしたのは彼女である。

ここでの kind は、食事を分け合うという行動について、彼女を親切だと評価している。

したがって、人の振る舞いを評価する of を使い、さらに目的格 her を置く。

A. for she：誤り。前置詞 for の後に主格 she は置けない。また、この文では彼女の振る舞いを評価している。

B. of she：誤り。評価の向きに合う前置詞は of だが、その後には主格 she ではなく目的格 her が必要だ。

C. of her：正しい。行為者である彼女の親切な振る舞いを評価し、目的格 her を使っている。

D. of hers：誤り。hers は「彼女のもの」を表す所有代名詞であり、ここで行為者本人を示す形としては使えない。

演習問題

1

次の英文の空所に入る最も適切なものを 1 つ選べ。

It is hard (　　) to open this old window.

A. of him

B. for him

C. for he

D. of he

2

次の英文の空所に入る最も適切なものを 1 つ選べ。

It was rude (　　) to laugh at the new student.

語注：rude＝失礼な

A. for they

B. of they

C. from them

D. of them

3

次の英文の空所に入る最も適切なものを 1 つ選べ。

It is necessary (　　) to arrive before eight.

語注：necessary＝必要な

A. for us

B. of us

C. for we

D. of we

©ミライコーチング

4

次の英文の空所に入る最も適切なものを 1 つ選べ。

It was careless (　　) to leave the door open.

語注：careless＝不注意な

A. of his

B. of him

C. for he

D. of he

5

次の英文の空所に入る最も適切なものを 1 つ選べ。

It is important (　　) to drink enough water.

A. for she

B. of her

C. for her

D. of she

6

次の英文の空所に入る最も適切なものを 1 つ選べ。

It was thoughtful (　　) to bring me some water.

語注：thoughtful＝思いやりのある

A. of you

B. with you

C. of your

D. for your

7

次の英文の空所に入る最も適切なものを 1 つ選べ。

It is easy (　　) to understand this short story.

A. of they

B. for they

C. of them

D. for them

©ミライコーチング

8

次のうち、人の振る舞いを評価する表現として、文法的に正しい英文を１つ選べ。

A. It was honest of she to tell us the truth.

B. It was honest for she to tell us the truth.

C. It was honest of her to tell us the truth.

D. It was honest from her to tell us the truth.

語注：honest＝正直な、truth＝真実

演習問題の解答・解説

1

正解：B

Pair 1

It is hard for him to open this old window.

彼がこの古い窓を開けるのは難しい。
hard は、窓を開けるという動作の難しさを表している。行為者は彼なので、for him が適切だ。

A. of him：誤り。ここでは彼の振る舞いへの評価ではなく、窓を開ける動作の難しさを述べている。

B. for him：正しい。動作の難しさを表し、行為者も目的格 him で示している。

C. for he：誤り。for の後には主格 he ではなく目的格 him を置く。

D. of he：誤り。前置詞の選択が文意に合わず、he の格も不適切だ。

2

正解：D

Pair 1

It was rude of them to laugh at the new student.

新しい生徒を笑うとは、彼らは失礼だった。
笑ったのは them（彼ら）であり、rude はその振る舞いを失礼だと評価している。そのため、of them が適切だ。

A. for they：誤り。ここでは人の振る舞いを評価している。また、前置詞の後に主格 they は置けない。

B. of they：誤り。of は評価の向きに合っているが、they を目的格 them にする必要がある。

C. from them：誤り。from は基本的に起点などを表す前置詞であり、この文で行為者の振る舞いを評価する形にはならない。

D. of them：正しい。彼らの行動を評価し、代名詞も目的格になっている。

3

正解：A

Pair 1

It is necessary for us to arrive before eight.

私たちが 8 時前に到着することが必要だ。
necessary は、8 時前に到着するという行動の必要性を述べている。到着するのは私たちなので、for us が適切だ。

A. for us：正しい。行動の必要性を表し、意味上の主語を目的格 us で示している。

B. of us：誤り。ここでは私たちの振る舞いを評価しているのではなく、到着することの必要性を述べている。

C. for we：誤り。前置詞 for の後には主格 we ではなく目的格 us が必要だ。

D. of we：誤り。前置詞が判断の内容に合わず、we の格も不適切だ。

4

正解：B

Pair 1

It was careless of him to leave the door open.

ドアを開けたままにしておくとは、彼は不注意だった。
ドアを開けたままにしたのは彼だ。careless は、その行動について彼を不注意だったと評価している。したがって、of him を使う。

A. of his：誤り。his はここでは所有を表す形になり、行為者本人を示す目的格 him の代わりにはならない。

B. of him：正しい。彼の不注意な振る舞いを評価し、目的格 him を使っている。

C. for he：誤り。行動に対する人への評価という意味に合わず、前置詞の後に主格 he も置けない。

D. of he：誤り。of の選択は評価の向きに合うが、主格 he ではなく目的格 him を使う。

5

正解：C

Pair 1

It is important for her to drink enough water.

彼女が十分な水を飲むことは重要だ。
important は、十分な水を飲むという行動の重要性を表している。水を飲むのは彼女なので、for her が適切だ。

A. for she：誤り。前置詞の後には主格 she ではなく目的格 her を置く。

B. of her：誤り。ここでは彼女の振る舞いを評価しているのではなく、水を飲むことの重要性を述べている。

C. for her：正しい。行動の重要性を表し、行為者も目的格 her で示している。

D. of she：誤り。評価の向きに前置詞が合わず、she の格も不適切だ。

6

正解：A

Pair 1

It was thoughtful of you to bring me some water.

私に水を持ってきてくれるとは、あなたは思いやりがあった。

水を持ってきたのは you（あなた）だ。thoughtful は、その親切な振る舞いについてあなたを評価している。そのため、of you が適切だ。

A. of you：正しい。あなたの思いやりのある行動を評価している。

B. with you：誤り。この形では、あなたを行為者として示し、その振る舞いを評価する表現にならない。

C. of your：誤り。your は所有格で、後ろに名詞が必要だ。行為者を示すなら you を使う。

D. for your：誤り。your は所有格なので、この位置で行為者本人を示す語としては使えない。また、文は行動を通して人を評価している。

7

正解：D

Pair 1

It is easy for them to understand this short story.

彼らがこの短い物語を理解するのは簡単だ。
easy は、物語を理解するという動作の容易さを表している。理解するのは彼らなので、for them が適切だ。

A. of they：誤り。動作の容易さを表す文脈に合わず、前置詞の後の代名詞も主格になっている。

B. for they：誤り。for は判断の内容に合うが、主格 they ではなく目的格 them を使う。

C. of them：誤り。ここでは彼らの性格や振る舞いを評価しているのではなく、物語を理解することの容易さを述べている。

D. for them：正しい。動作の容易さを表し、意味上の主語も適切な格で示している。

8

正解：C

Pair 1

It was honest of her to tell us the truth.

私たちに真実を話すとは、彼女は正直だった。
to tell us the truth は「私たちに真実を話すこと」という意味だ。その行動をしたのは彼女である。

honest は、真実を話したという彼女の行動から、その人を正直だったと評価している。そのため、of her を使う。

A. It was honest of she to tell us the truth.：誤り。of は人への評価を表す形に合うが、she は主格なので目的格 her に直す必要がある。

B. It was honest for she to tell us the truth.：誤り。ここでは彼女の正直な振る舞いを評価している。また、for の後に主格 she は置けない。

C. It was honest of her to tell us the truth.：正しい。行動について彼女を評価しており、of の後には目的格 her が置かれている。

D. It was honest from her to tell us the truth.：誤り。from her は、この文で人の振る舞いを評価するための適切な形ではない。of her を使う。